

【教育目標】「心身ともに、たのもしいうちの育成」

【めざす児童像】

- ①互いに学び合う子【知】
 ②やさしく助け合う子【徳】
 ③健康で命を大切に使う子【体】
 ④地域を大切にし礼儀正しい子【郷土愛】

【目指す学校像】

- 「自信に満ちた 笑顔いっぱい の 鳳至小学校」
 ～「わくわく」「どきどき」「感動」を根底に、子どもの心に火をつける！～
 ・大きな声であいさつし、自分を表現できる子どもたちに（自信）
 ・意欲的に授業・行事等に取り組む子どもたちに（達成感、満足感）
 ・自分をしり、より良い自分に挑戦する子どもたちに（目標、自主性）

項目	評価の目標	具体的な取組	主担当	評価の観点	達成度評価基準
学習指導	児童の学力向上を目指す ・学習意欲を高める ・学びの経験値を高める	・教師と児童による学習規律や学習ルールの共有 ・生徒指導の3機能（自己決定・自己存在感・共感的人間関係）を生かした授業づくり	授業づくり	学習規律と学習ルールが教師と児童の間で共有され、落ち着いて学習に取り組んでいる	「各月のめあてのスタディーマナーを守っている」児童の割合 A: 60%以上 B: 50%以上 C: 50%未満
	基礎的・基本的な知識や技能の定着を目指す ・個に応じたきめ細かな指導の充実	・ペア・グループ学習を取り入れた、話し合う場の設定 ・主体的に学習できるよう課題の工夫	基盤づくり	課題意識や相手意識を明確にした授業が児童の学力向上につながっている	「話す人の方を見て聞いている」児童の割合 A: 70%以上 B: 60%以上 C: 50%未満
		・書く活動の充実 根拠や理由を明確にして、自分の考えを書く、推敲する（短作文）	基盤づくり	短作文などを書く活動が児童の文章を書く力の向上につながっている	根拠や理由を明確にして、自分の考えを表現できる児童の割合 A: 70%以上 B: 60%以上 C: 60%未満
		・土曜授業の充実 ・放課後学習の充実 ・漢字検定 ・情報モラル教育 ・防災教育	体制づくり	土曜授業や放課後学習が全校の取組として計画的に行われ、成果を上げている	市学力調査で目標を達成した割合（6学年×2教科＝12を100%として算出） A: 60%以上達成 B: 50%達成 C: 49%以下
生徒指導	自尊感情・自己肯定感を高める	・教師主導から児童の企画運営による諸活動（達成感や満足感を高める） ・生徒指導の3機能（自己決定・自己存在感・共感的人間関係）を生かした委員会活動や行事の運営	特別活動	児童が自分達で決め、協力して活動する場を作り、児童の満足感や達成感につながっている	「学級や学校をよりよくするために自分たちで考えて活動している」と答えた児童の割合 A: 80%以上達 B: 70%以上 C: 70%未満
	いじめ、不登校の未然防止	・あいさつ、あきらめない、あとかたづけを通じた集団づくり（3あ運動） ・生徒指導の3機能（自己決定・自己存在感・共感的人間関係）を生かした諸活動の推進 ・いじめアンケートやQ-Uアンケートの実施と結果を生かした迅速な対応（いじめ防止基本方針より） ・外部の専門家との連携	生徒指導	児童がお互いに助け合い、協力して活動する場を作り、児童の友達との温かな関係づくりにつながっている	「安心して学校で生活している」と答えた児童の割合 A: 90%以上達 B: 80%以上 C: 80%未満
心の教育・体力向上	豊かな心を育てる道徳教育を推進する	・時期とねらいを明確にした道徳・学級活動の実践 ・保護者や地域と連携した道徳の授業（授業の公開・ゲストティーチャーの活用）	道徳推進	保護者や地域と連携した道徳の授業を行い、児童が自分自身を見つめ、考え、判断する力を育てる	ゲストティーチャーを活用した授業を行ったクラスの数 A: 2回以上実施したクラスがある B: 全クラスで実施 C: 実施しなかったクラスがある
	望ましい生活習慣の確立を図り、健康管理を推進する	・早寝・早起き・朝ご飯の推進 ・SNS機器の利用についての指導	健康美化	早寝・早起き・朝ご飯を中心とした指導を行い、望ましい生活習慣が身についている	就寝時間を守っている児童の割合（低学年9時半、中学年10時、高学年10時半） A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以下
	児童の体力向上に努める	・年間を通して跳躍力と柔軟性の向上を目指す	健康美化	年間を通じた取組により、児童の跳躍力と柔軟性が向上している	4・5・6年生の平均 立ち幅とび +8cm（前年度比） 長座体前屈 +5cm（前年度比） 2項目6学級 達成した学級の数 A: 5～6学級 B: 3～4学級 C: 0～2学級
連地保 携域護 と者の や	保護者や地域から信頼される「開かれた学校づくり」を目指す	・参観から参画へのPTA活動 ・保護者、地域と連携した各種行事の企画及び運営 ・学校ホームページの作成と更新 ・学校便りや学級便りの発行	教頭	保護者が積極的にPTA活動参加している	学年懇談・行事への参加率 A: 50% B: 45%達成 C: 45%以下
組に多 向忙 け化 改 取 善	教職員全体の働き方に関する意識改革を進める。	・定時退庁日の設定 第4水曜日 ・勤務時間終了時刻の目標設定 ・教職員の勤務状況を把握と指導・助言	教頭	職員は業務終了時刻を意識して仕事をしている。	時間外勤務時間の月別平均が前年を下回る割合が A: 70% B: 60% C: 50%